

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2018年												2019年																
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月 ~1日	9月 ~8日	9月 ~15日	9月 ~22日	9月 ~29日	10月 ~6日	10月 ~13日	10月 ~20日	10月 ~27日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	56	46	78	65	87	128	102	107	34	35	26	31	31	23	21	5 (6)	12
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	85	81	77	69	51	59	51	37	9	27	14	20	15	11	14	5 (8)	12
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	0	1	1	1
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	5	3	11	6	3	11	5	12	3	7	3	1	4	2	2	1	2
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	10	9	12	13	14	24	11	17	3	3	1	2	6	3	3	0	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	22	16	22	14	11	12	18	12	3	5	1	3	3	2	4	0 (2)	2
腸炎ピブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	1	0	0	3	1	2	0	0	3	0	1	0	1	0	0
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	3	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	23	23	11	11	2	5	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0

\* ( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和元年第43週(10月21日~10月27日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	9	結核	9	2		1		4		2
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1					1		
四類	5	つつが虫病	2	1				1		
		日本紅斑熱	1			1				
		レジオネラ症	2					1		1
五類全数	10	アメーバ赤痢	1							1
		劇症型溶結性レンサ球菌感染症	1					1		
		後天性免疫不全症候群	1					1		
		梅毒	2					1		1
		播種性クリプトコックス症	1					1		
		百日咳	3		3					
		風しん	1						1	

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市  
 東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町  
 西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町  
 北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

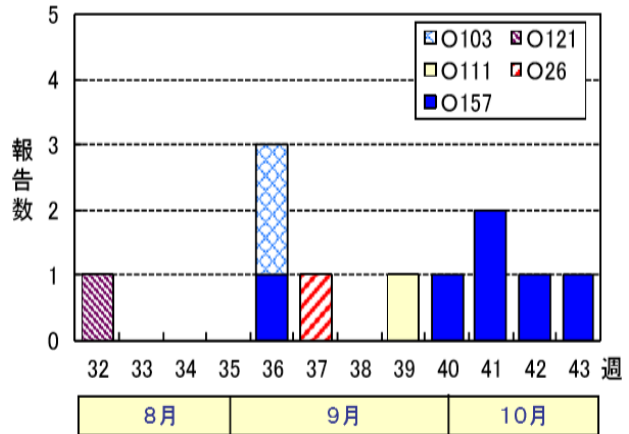
1. 腸管出血性大腸菌感染症

1件の報告があり、今年の累計は15件となりました。  
 9月以降、報告が続いていますので、肉等の食品の十分な加熱、食材・調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行など、感染予防対策を徹底しましょう。

2. つつが虫病

1件の報告がありました。  
 つつが虫病はツツガムシ(ダニの一種)に刺されることで感染します。山や草むらに入るときは、長袖・長ズボンを着用するなど、肌の露出を少なくし、ダニ類の付着を防ぎましょう。

腸管出血性大腸菌感染症の型別報告数の推移(2019年)



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
インフル	インフルエンザ	23	0.62	0.15	↑	小児科	流行性耳下腺炎	3	0.13	0.69	
小児科	咽頭結膜熱	3	0.13	0.28		小児科	RSウイルス感染症	36	1.50	0.96	↔
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	25	1.04	2.46	↔	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	感染性胃腸炎	85	3.54	5.91	↔	眼科	流行性角結膜炎	3	0.38	0.60	
	水痘	8	0.33	0.37		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	24	1.00	1.57	↘		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	5	0.21	0.12			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.20	
	突発性発しん	6	0.25	0.47			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	7	0.29	0.32			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03	

急増減 ↑ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)  
 増減 ↗ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)  
 微増減 ↔ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)  
 横ばい ⇄ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	131	男性(60歳代)、男性(70歳代)、男性(80歳代)、女性(80歳代)
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	15	男性(70歳代)・O157
4	つつが虫病	1	1	男性(40歳代)
4	レジオネラ症	1	24	男性(60歳代)
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	6	女性(80歳代)
5	後天性免疫不全症候群	1	11	男性(30歳代)・感染者
5	梅毒	1	66	男性(30歳代)
5	播種性クリプトコックス症	1	3	女性(70歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.8) 鼻炎	5	男	2019/09/21	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
咽頭結膜熱	発熱(39.0) 結膜炎 鼻炎	1	女	2019/09/14	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス3型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載